

鹿児島市立病院

病院の概要

所在地 〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号
開設者 鹿児島市
開設年月日 昭和20年4月
病院長 坪内 博仁
病床数 574床
診療科目 内科、糖尿病・内分泌内科、血液・膠原病内科、腎臓内科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腫瘍内科、リウマチ科、小児科、新生児内科、精神科、放射線科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科
医師数 常勤医140名、医員65名
指導医数 72名（令和7年4月1日現在）
1日平均外来患者数 778人
1日平均入院患者数 502人



臨床研修プログラムの目的と特徴

【目的】
当院の研修プログラムは、将来、いろいろな診療科に進む初期臨床研修医にとって必要な基本的な知識と技術、そして考え方をしっかり習得することを目的としています。

【特徴】
主に、必須項目のうち精神科・地域医療は協力型病院で、それ以外は指導体制の充実している当院で研修します。
○標準プログラム（15名）は、自由度が高く、将来の希望進路に対応できるようにしています。
○成育医療（2名）は、当院の強みである周産期医療（産婦人科・新生児内科・小児科）の研修期間を長くしています。
○総合診療プログラム（2名）は、内科、地域医療などを充実させており、総合診療の内科医を育成するプログラムとなっています。
※3つのプログラムの基盤は同じで、併願受験していただくことが出来ます。

臨床研修スケジュール

プログラム	1年目												2年目											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
標準	内科			救急部門			外科			選択科目			地域医療	精神科	小児科	産婦人科	放射線科	救急部門	内科			選択科目		
	(16週以上)			(8週以上)			(8週以上)			(16週以上)			(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(8週以上)			(16週以上)		
成育医療	内科			救急部門			産婦人科	小児科	放射線科	成育医療			地域医療	精神科	放射線科	内科	外科	成育医療			選択科目			
	(16週以上)			(12週以上)			(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(8週以上)			(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(8週以上)	(8週以上)	(8週以上)			(12週以上)			
総合診療	内科			救急部門			外科			放射線科	地域医療	総合診療	精神科	小児科	産婦人科	内科			選択科目					
	(24週以上)			(12週以上)			(8週以上)	(8週以上)	(8週以上)	(4週以上)	(8週以上)	(8週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(4週以上)	(8週以上)	(8週以上)	(12週以上)			(12週以上)			

※上記の表は各プログラムのスケジュールの一例です。実際の研修順は診療科と協力病院等の組み合わせで作成します。

【選択科目における研修先】 ※選択科目における同一施設の院外研修は年8週（2か月）まで

院内研修	内科系	①腎臓内科 ②血液・膠原病内科 ③糖尿病・内分泌内科 ④脳神経内科 ⑤呼吸器内科 ⑥消化器内科 ⑦循環器内科 ⑧小児科 ⑨放射線科 ⑩新生児内科 ⑪病理診断科 ⑫総合診療部（一般外来の研修を並行して履修することも可）
	外科系	①消化器外科 ②呼吸器外科 ③心臓血管外科 ④乳腺外科 ⑤小児外科 ⑥整形外科 ⑦形成外科 ⑧脳神経外科 ⑨皮膚科 ⑩泌尿器科 ⑪産婦人科 ⑫眼科 ⑬耳鼻咽喉科 ⑭麻酔科 ⑮ICU ⑯救急科 ⑰リハビリテーション科
院外研修	協力型臨床研修病院（4か所）	①鹿児島大学病院（地域医療を除く全ての診療科） ②鹿児島医療センター（地域医療及び精神科を除く全診療科） ③鹿児島県立始良病院（精神科） ④医療法人有隣会伊敷病院（精神科）
	臨床研修協力施設（6か所）※併修可	①肝付町立病院 ②枕崎市立病院 ③公立種子島病院 ④南さつま市立坊津病院 ⑤小林市立病院 ⑥垂水中央病院 ※一般外来の研修を並行して履修することも可

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院
鹿児島大学病院（地域医療を除く全ての診療科）、鹿児島医療センター（地域医療及び精神科を除く全診療科）、鹿児島県立始良病院（精神科）、医療法人有隣会伊敷病院（精神科）
研修協力施設
肝付町立病院、枕崎市立病院、公立種子島病院、南さつま市立坊津病院、小林市立病院、垂水中央病院

新専門医研修プログラム

当院は、7つの基本領域の専門研修基幹施設であり、専門医の資格取得を目指すことができます。
①内科専門研修プログラム「造士館」 ②産婦人科研修プログラム ③麻酔科専門研修プログラム ④救急救命専門研修プログラム ⑤総合診療専門研修プログラム「集成館」 ⑥形成外科研修プログラム ⑦鹿児島県地域整形外科専門研修プログラム

病院のアピールポイント

1. 鹿児島市立病院の特徴

- 鹿児島市立病院は574床、33診療科、大学病院に継ぐ規模と機能を持つ総合病院
- 2024年、県下では鹿児島医療センターとともに特定病院群の指定、病院機能評価係数Ⅱは全国178病院中59位で、全国レベルの病院

2. 優れた実績の診療機能

- いろいろな救急患者を24時間受け入れる救命救急医療—S評価の救命救急センター、ドクターヘリおよびドクターカーの基地病院、脳神経内科・脳神経外科連携した脳卒中診療、循環器、消化器をはじめ整形外科、形成外科も充実
- 周産期から小児まで一貫した成育医療—国内最大規模の新生児内科、24時間体制の総合周産期母子医療センター、小児救急拠点病院、県下唯一の小児心臓外科部門
- 全ての領域のがんに対応—がん診療連携拠点病院（高度型）、県下最大の外来化学療法部、2台のダヴィンチ X i を用いた泌尿器、婦人科、消化器外科、呼吸器外科の低侵襲手術

【初期臨床研修医が思う当院の良い点】

- ・診療科が豊富で、コメンのもののから専門的なものまで幅広く診れる
- ・手技や治療方針の指導がとても熱心で、研修医のうちから手技をさせてもらえる
- ・患者に対して主体的に診療できるため、3年目以降の医師として自分で考えて動けるようになる



鹿児島市立病院長
坪内 博仁



初期研修医処遇

身分	会計年度任用職員	加入保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
給与	1年次 約510,000円/月（基本給＋各種手当）	当直手当	12,000円/回 会計年度任用職員の給与に関する規定に基づき支給
	2年次 約520,000円/月（基本給＋各種手当）	通勤手当	あり（常勤職員と同様一定条件を満たす場合に支給）
賞与	1年次 約460,000円（6月・12月の支給合計）	諸手当	なし
	2年次 約750,000円（6月・12月の支給合計）	退職手当	約480,000円 ※2年次修了後に支給されます。
出張	学会等で演者としての参加には旅費支給あり	その他手当	時間外勤務手当、休日勤務手当、特殊勤務手当（夜間等救急診療手当など）
休暇	年次有給休暇：1年次10日、2年次11日、夏季休暇（3日）、病欠休暇、忌引休暇等あり	その他	モデル年収（給与＋賞与＋退職手当） 1年次：約6,650,000円 2年次：約7,570,000円

募集要項

募集定員 19名（標準15名、成育医療2名、総合診療2名）
応募資格 第120回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和7年度医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切 令和7年7月中旬（予定）
試験日程 令和7年8月上旬～中旬（予定）
試験内容 書類審査、SPI3による総合検査及び面接試験

応募連絡先

所在地 〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号
担当部署 鹿児島市立病院総務課職員係
電話 099-230-7002
FAX 099-230-7070
E-mail hpsou-syoku@city.kagoshima.lg.jp
URL https://www.kch.kagoshima.jp

情報発信サイト

ホームページ



病院見学や募集要項を掲載しております。ぜひご覧ください。

SNS「X」



研修の様子や採用試験の情報を発信しております。